

ふくい社会福祉

6
No.391



温故知新 ～一途に社協道～



海のバリアフリーに向けて

サーフショップ「Nan's Sea」代表（海女）
大井 七世美 さん（坂井市）

生まれ育った町、三国でサーフショップを運営しながら、海に潜り貝類や海藻をとる「海女」をしています。

「海女」になったきっかけは、平成9年1月に発生したロシア船籍のタンカー「ナホトカ号」の重油流出事故です。

サーファーに呼びかけ、ボランティアサーファーとして漁師や海女たちと協力して、海岸に漂着した重油の撤去作業を手伝いました。その時に会った海女たちの明るさとおおらかさそして、大声で元気な姿にとても惹かれたのです。

サーフィンをすることは生活の一部となっているので、海の風を感じることの心地良さは知っていますが、天真爛漫な海女に出会いこの人たちが働く海の中を知りたいと強く思いました。

海女には様々な掟がありますが、中でも「海女以外を海に入れる」ということは決して許されませんでした。しかし、三国の海女も大幅に減少し後継者問題を抱えていたことと、私の海を愛する熱意が通じ、今の師匠に弟子入りすることができました。

海女は海の恵みをいただくだけでなく、海を管理する里海づくりという大きな役目があります。

堆積する土砂の影響を防ぐための岩おこし（海底の石をひっくり返し、石が泥に埋まるのを防ぐ）や「スゲ」というアマモの仲間の刈り取りを定期的に行っています。

その他には、海への正しい理解を深める活動もしています。例えば、海の清掃活動です。ゴミによって景観の悪化や観光客の減少があります。また、浜辺のゴミは波によって海に運ばれてしまい、そのことによって、海浜植物の生育の阻害・生き物が餌とゴミを区別できずに誤飲・誤食するなど、ゴミが海に及ぼす影響は多大なものがあります。

多くの人が海辺の自然を体験し、楽しんでほしいと願っていますが、楽しむだけでは自然環境を悪化させる危険性もあるので、楽しみながら、海への正しい理解を深めたいと思っています。

その一環として、今年の夏はサーフィンチャレンジスクールや生き物観察スノーケリングスクールなど体験型オアシンスクールを企画しています。このスクールは、高齢者や障がい者、健常者を問わず海の魅力を味わい共に楽しめるものとなっています。

使命として多くの人に海の魅力を伝え、「海のバリアフリー」の実現に向けて活動し続けたいと思っています。



表紙の企画について

様々な人たちの目線から「地域のつながり、人とのつながり」に関するメッセージをいただいています。



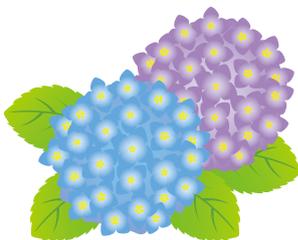
期待!!信頼され、頼りになる専門職に 〈介護支援専門員（ケアマネジャー）の資質向上と今後のあり方に関する議論の中間的な整理〉



池端会長

本年一月、『介護支援専門員（ケアマネジャー・以下ケアマネ）の資質向上と今後のあり方に関する検討会』における議論の中間的な整理」が同検討会より報告されました。平成二十四年三月に設置された検討会では、これまで七回にわたって議論が重

ねられ、本県より福井県地域包括・在宅介護支援センター会長である池端幸彦氏（日本慢性期医療協会副会長、福井県医師会副会長、福井県介護支援専門員会長等）が検討委員として参画しています。今回の論点整理のポイントを池端会長に直撃しました。



Q まず、検討会の経緯について教えてください。

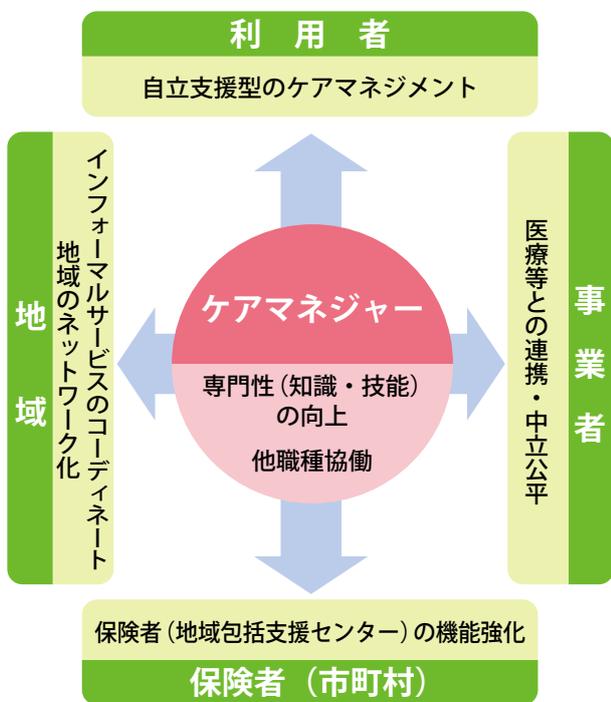
A 国の介護給付費分科会において、「ケアマネのケアマネジメンツの質がよくない」といういわゆる「ケアマネ不要論」が出たことを受け、全国で調査が始まったことがきっかけです。調査では、各市町からの一、二例をチェックしたところ、「全体の九割のケアマネジメ

ンツに問題がある」と結果が出ましたが、ケアマネからは、「現場を見ていないのにそのように言われるのもおかしい」という声があったこともあり、国としても検討会を立ち上げ、ケアマネの質の向上について協議しようとして決定されました。

Q 今回の報告書におけるポイントは何でしょうか。

A 大きく分けると次の四つに分けることができます。

- ① ケアマネジメントの質の向上について
- ② 保険者機能の強化等による介護支援専門員の支援について
- ③ 医療との連携の促進について
- ④ 介護保険施設における介護支援専門員について



出典：「『介護支援専門員（ケアマネジャー・以下ケアマネ）の資質向上と今後のあり方に関する検討会』における議論の中間的な整理」から一部改編

Q

今回の報告を受けて、会長がケアマネや市町村、事業者等に対して感じていらっしやることを教えてください。

A
まずは、利用者に直接ケアマネジメン卜するケアマネ自身の

資質向上が最も重要で。そのためには、研修受講体制の確立が重要となります。同時に、大きな柱として、保険者（市町村）は、もっとケアマネと連携を取って、ケアマネを支援する体制を取ってほしいと思います。その結果が、利用者へのサービスの向上に繋がります。

その中でも、検討会で最もクロールアップされたのが、「地域ケア会議を通してケアマネを支援する」という視点です。これまでに地域包括支援センターで行われてきた「地域ケア会議」では、各職種団体から代表者が集まり、広範囲にわたる地域のニーズが検討されてきただけであり、個別の困難ケースについては、個別会議が行われるのみで、ケアマネの支援には至っていませんでした。これからは、個別のケースにおける検討の中で、ケアマネが立案したケアプランに対して直接支援していく視点が求められます。例えば、ケアマネがハビリや医療の観点が必要だと感じていても、専門家に意見を聴くことができない場合は、地域ケア会議にその案件を挙げれば、専門家からのアドバイスを得ることが出来ます。その個別事例における

課題解決の蓄積により、地域課題が明らかになり、地域全体の課題解決に向けた対策を協議することが出来ます。

加えて、これからの市町村はケアプランをチェックするだけでなく、中立公正な立場からケアマネを応援する機能を強化する必要があります。市町村には、本来の保険者の役割として、ケアマネとタッグを組んで居宅支援事業に取り組んでほしいと思います。市町村がもっと問題意識を持って、課題があれば国に提案していくという姿勢を持っていただきたいと思ひます。

また、インフォーマルサービス（介護保険給付外のサービス）のコーディネートが必ずしも十分でないとも言えます。現在のケアマネは、共助・公助で行われていますが、今後は共助・公助に加え自助・互助がなければ、これからの介護保険は成立しません。

もう一つの視点として、主任ケアマネに対する期待があります。特に、小規模事業所においては、主任ケアマネがいけない場合もあるので、例えば、大規模事業所の主任ケアマネが、小規模の他の事業所に指導に向かうといった体制の構築が望まれます。そのほか、介護支援専門員にかかる

研修制度として、試験と座学だけではなく、医師でいうインターンシップのようにベテランケアマネの下で研修する期間を設けてはどうかという議論もなされました。

一方、医療との連携も不可欠であり、ケアマネと医師の双方が垣根を越えて歩み寄る体制が必要になります。最近では医師の意識も変わりつつ

Q

最後に、ケアマネジャーに伝えたいことは何でしょうか。

A
この報告書は、決してケアマネ不要論の視点に立っているわけではなく、もちろん、ケアマネだけを責めるものでもありません。ケアマネのあり方について考えるひ

つあり、利用者の在宅ケアに関してケアマネが最も重要な情報を持っていることを理解しています。特に、今後は在宅医療連携拠点事業が県単位で行われるようになるので、ぜひ怖がらずに連携してほしいと思ひます。また、更にこれらは、「認知症施策五か年計画（オレンジプラン）」も大きく影響してくると思ひます。

とつのできつけになると思ひます。私は、豊かな老後に必要なものは、「少しのお金と三種の神器」であると思ひています。

- ① 信頼できるかかりつけ医
- ② 信頼できるケアマネ
- ③ 頼りになる地域包括支援センター

この三つがあれば困りません。逆に言えば、この三つがなければ老後には送れないと言っても過言ではない

でしょう。ぜひ、信頼され、頼りになる専門職になっていただきたいと思ひます。

【事務局より】

池端会長の言葉を伺いして、介護保険制度が十二年を経過した今、改めて「ケアマネジャー」の使命、役割、機能について考える必要があると感じました。支援が必要な方々に対するケアマネジメント機能を十二分に発揮し、その方々が望む生活の継続ができるよう、包括的な支援体制を推進する要として活躍することを期待したいと思います。

求人 522 名、求職 146 名（採用 60 名）
【ふくい福祉就職フェア】 年 2 回、参加 112 事業所、参加者 271 名、就職者 48 名



【ふくしジョブミニパーク（地域型面談会&講座）】 県内 4 地区、参加 74 事業所、参加者 187 名（就職者 11 名）
【月例面談会「マンスリーミーティング」（試行）】 5 法人、参加 6 名（就職者 1 名）

【ふくしの仕事まるわかり講座】 6 回、受講者 186 名
【無料職業紹介】 求人 1,797 件（3,136 名）、求職 1,411 名、紹介 375 名、就職者 217 名／相談 6,313 件、夜間相談 53 件

【東日本大震災被災者職業紹介】 求人 28 件（68 名）、求職 1 名

【巡回訪問】 施設巡回訪問：31 か所、学校訪問説明会：参加者 157 名

【調査研究】 紹介就職者現況、介護福祉士養成機関・保育士養成機関新卒者の進路情報

3 福祉事業の経営に関する相談支援体制の強化

◆福祉施設経営指導

【巡回訪問】 62 法人、相談件数 325 件
【研修・セミナー】 5 コース、受講者 336 名
【経営支援】 経営指標作成／経営指導連絡協議会（1 回）

4 福祉サービスの評価・公表制度等を活かした事業所支援

◆介護サービス情報の公表

【指定情報公表センター】 16 区分、公表 1,098 事業所
【情報公表調査】 131 事業所

◆福祉サービス第三者評価・地域密着型サービス外部評価

【第三者評価推進組織】 基準等委員会（1 回）、セミナー（1 回、43 名）／評価事業：確定 6 事業所

【地域密着型外部評価】 認知症グループホーム 46 事業所、小規模多機能型居宅介護施設 51 事業所

◆職場環境・働く意欲づくり

【福利厚生センター】 加入 47 法人、加入者 2,305 名／地方委託レクリエーション講習：受講 20 名、会員交流企画：15 事業、参加者 2,726 名／関連企画：18 メニュー、参加者 2,485 名

【施設職員退職共済事業】 加入 181 法人（483 事業所）、加入者 7,019 名

5 地域の福祉ネットワーク組織や職能団体への支援

【各種別協議会活動への協力、助成】

【異業種福祉実践（職員交流）研修】 参加者 7 名

【施設の災害対策支援】 経営者セミナー：受講 80 名、施設防災マネージャー養成研修：受講 73 名

6 福祉サービスの苦情解決の機能と支援体制の強化

【運営適正化委員会】 年 6 回

【関連研修】 1 回、受講者 237 名

【事業所訪問相談】 訪問 36 事業所

【苦情・相談の受付】 苦情 45 件、一般相談 25 件

7 総合相談・自立生活支援体制の強化

◆生活福祉資金貸付

【貸付】 申込 141 件（承認 140 件）、貸付決定額 43,848 千円

【相談】 2,909 件、専任相談員配置 14 名（県社協 4 名、市町社協 10 名／償還指導 240 名、督促件数 1,430 件）

◆日常生活自立支援（高齢者・障がい者の権利擁護等）

【相談／利用契約／研修】 相談 15,432 件／契約 114 件（累計 1,080 件）、利用者 511 名／研修：5 コース、受講者 250 名

8 相談・支援機関とのネットワーク強化とセーフティネット構築

【高齢者専門相談窓口の開設】 4 分野

【福祉用具・住宅改修】 専門相談員の登録 60 名、出張相談 3 件（派遣 4 名）、一般相談 139 件

IV

元気で信頼される福井県社協づくり

1 事業活動や経営に参画する仕組みの強化

【適正な法人運営】 正副会長会議 1 回、理事会 2 回、評議員会 2 回、監事監査・包括外部監査・指導監査



【財政基盤づくり】 予算対策運動、チャリティーアート展（協賛 155 名、181 作品）開催、寄附金の受領・活用（福祉車両寄贈）



2 発展強化を図る経営分析等の仕組みづくり

【つないでキラリ☆プロジェクト】 2 テーマ

3 業務の目標管理、職員のスキルアップ、コミュニケーション

【職員の業務・育成支援】

【スキルアップ（Off-JT）研修派遣】 10 研修、受講者 34 名

【社内マガジンの発行】 年 4 回

【職員衛生委員会の設置運営】 9 回、3 研修

4 財務活動の推進と情報開示

【各種基金の運用】 5 基金

【広報誌の発行】 年 10 回、1 回 3,600 部

【ファクス情報配信】 年 21 回



5 顕彰等を通じた関係者との信頼関係づくり

【県社会福祉大会表彰】 個人 138 名、9 団体

【全国社会福祉大会表彰推薦】 個人 43 名、25 団体

6 福井県社会福祉センター指定管理業務の推進

【サービス向上・利用促進】 サービス向上委員会、グリーンカーテン設置、駐車場拡張、消防設備換装等

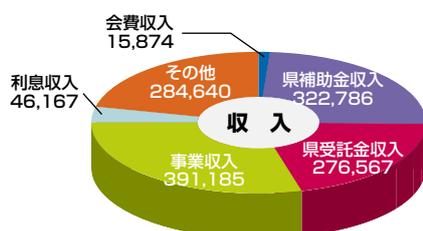


【福祉体験学習受入】 年 16 回、参加者 354 名

平成 24 年度収支決算の概要

（単位：千円）

※ 経常的な事業活動の収支状況



平成 24 年度決算における経常的な事業活動の収支状況について、その概要を示したものです。
「その他収入」および「その他支出」については、それぞれ資金移動にかかる繰入金収入・支出が含まれています。

平成24年度は、「第3次ふくい地域福祉プラン21（5か年計画）」（3年次）に基づく事業活動に加え、地域の支え合い基盤や災害時の広域支援ネットワークづくりなど時宜の課題にも積極的に取り組みました。

I 福井でのすこやかな暮らしを支える つながりの輪づくり

1 つながりの輪で支えあう県民意識の創造

◆すこやか長寿センター

[チャレンジ塾] 25塾（386名）、活動発表（シニア・アート展）155点

[アクティブシニア養成講座] 3コース、

受講者188名
[アクティブシニアの登録] 登録：個人82名、36団体
[パソコン講習] 9コース、受講者480名、相談室：10回、62名

[全国健康福祉祭（宮城大会）選手派遣] 144名

[ふくい健康長寿祭2012（大野・勝山市）] 参加者3,978名

[広報誌「福悠人」発行] 年6回（1回約21万部）

[高齢者ラジオ放送講座] 受講者113名

◆介護実習・普及センター

[家庭介護講座／介護出前講座／高齢者介護講演] 16回、受講者281名／78回、受講者1,588名／1回、受講者185名

2 地域でつながりの輪づくりに参加する人材の発掘と養成

[地域見守りフレンズ育み講座] 110回、受講者3,707名

[地域コミュニティパートナー養成研修]

17地区、受講者474名

3 「つなぐボランティアの輪推進運動」の啓発

[広報啓発] ポスター・チラシ、ラジオ放送等

[エコキャップアートコンテスト] 応募36点（入賞6点）

[サマーボランティア体験] 173メニュー、参加者346名

[ボランティア作文コンクール] 応募1,108点（入選20点）

[「ふくい・つながりフォーラム2012」] 来場者700名、福祉大会・車両贈呈・記念講演（戸羽太陸前高田市長）・体験コーナー等

[まごころ基金助成] 31団体、助成額5,392千円

[世代間同居促進（モデル）事業の試行]

4 地域ぐるみの「福祉教育」の推進

[地域ぐるみの福祉教育推進助成] 17市町社協への助成

5 地縁・知縁のつながりを広げる協働・共同の場づくり

◆ボランティアカフェの運営

◆ボランティアカフェの運営

[相談・情報提供] 利用者8,269名

[カフェ講座] 2講座、受講者20名

◆関係機関との連携・協働

[民生委員児童委員活動]、[企業等ボランティア・社会貢献連絡会]、[県災害ボランティアセンター連絡会]

II 福井の福祉活動をけん引する 社協のブランドづくり

1 住民の福祉活動を支える社協の「見える化」の推進

◆市町社協との協働

[県市町社協会長会] 被災地訪問（24名）、希望の一本松

保存募金の寄附)

[市町社協トップセミナー] 年1回、参加者51名

[市町社協課題解決戦略会議] 年2回、参加者50名

[ボランティアセンター実践研究会] 年2回、参加者52名

[生活困窮者支援事例集の発行] 10事例、発行300部

2 住民の福祉活動を応援するワーカーのスキルアップ

[社協ワーカー養成研修] 3コース、受講者42名

[ボランティアコーディネーター研修] 年1回、39名

3 住民の福祉活動を活かした地域のセーフティ ネットの構築

◆災害時における社協相互支援体制づくり

[実地訓練] 検討会2回、一斉訓練（広域3ブロック割）、総括会議1回

[市町社協職員防災士資格取得支援（助成）] 11名

[北陸3県内社協災害支援活動合同研修] 1回、82名（本県参加34名）

◆地域の支え合い活動の啓発

[ふくい・つながりフォーラム2012] ※再掲

◆地域コミュニティ再生のための災害支援活動

[3.11 希望の灯りでつなぐ絆プロジェクト]

県内社協での希望の灯り一斉点灯

◆地域で支えるセーフティネットづくり

[勉強会] 年1回、参加者38名

4 市町社協を元気にする経営課題の分析と支援策の強化

[ステップアップミーティング] 年4回、参加者73名

5 市町社協の「見える化」への支援

◆社協による地域福祉推進研究活動

[小地域福祉活動計画策定指針づくり] 年5回、参加71名

[社協職員育成研修体系づくり] 年6回、参加77名

III 福井の福祉を高い専門性で支える サービスの基盤づくり

1 福井の福祉・介護を支える専門職像の明示と育成策の強化

◆社会福祉研修所

[独自研修] 28コース（33課程）、60日、受講者2,476名

[受託研修] 7コース（11課程）、150日、受講者983名

[介護支援専門員実務研修受講試験] 受験者988名（合格率18.7%）

◆介護実習・普及センター

[介護職員等研修] 4事業、181回、受講

者3,642名

2 福井の福祉・介護を支える人材の発掘と定着の強化

[介護福祉士等修学資金貸付] 貸付累計73名

◆福祉人材センター

[人材マッチング支援] 移動相談：2地区、

99回、参加者215名／事業所訪問：121日、

142か所

[就職内定者応援セミナー（試行）] 受講137名

[人材新規就業支援] 介護福祉士コース：求人58名、求職39名（採用17名）／ホームヘルパー2級コース：



賛助会員名簿

お寄せいただきました会費は、一人ひとりの尊厳が守られる社会構築を目指し、地域福祉を総合的に推進するさまざまな活動に役立てさせていただきます。

平成25年1月11日～5月31日【敬称略・50音順】

市町名	名称
福井市	株式会社 秋吉グループ本部
	株式会社 アスピカ民救サービス
	社会福祉法人 足羽福祉会
	株式会社 アタゴ
	株式会社 安部書店
	アルマ千寿
	井上商事株式会社
	医療法人 幸若会 打波外科胃腸科
	株式会社 ウララコミュニケーションズ
	栄月株式会社
	江守商事株式会社
	大原スポーツ医療保育福祉専門学校
	大脇 佳代
	有限会社 奥義肢製作所
	株式会社 カツクラ
	学校法人 金井学園
	株式会社 カワグチ
	河和田屋印刷株式会社
	木村興業株式会社
	清川メッキ工業株式会社
	銀扇福井株式会社
	久我 元
	有限会社 ケア・フレンズ
	医療法人 厚生会
	光陽生協病院
	郡谷 いさを
	小林電工株式会社
	医療法人 喜生会 小林クリニック
	コマツサービスエース株式会社
	衣日織物株式会社
	株式会社 酒井染料商会
	酒井電機株式会社
	サカセ化学工業株式会社
	株式会社 シー・ディー・アイ
	株式会社 JTB 中部
	株式会社 芝寿司福井店
	医療法人 健康会 嶋田病院
	株式会社 昭和堂
	学校法人 福井仁愛学園
	株式会社 新内
	スバル食品株式会社
	有限会社 スリーピーハウス
	財団法人 積善会
	瀬戸 百合子
	創文堂印刷株式会社
	大栄株式会社
	株式会社 大和印刷所
	大和電建株式会社
	株式会社 高島松文堂
	株式会社 タッセイ
	株式会社 田中化学研究所
	だるま屋商事株式会社

市町名	名称
	中部インテリア株式会社
	富永病院
	ネットヨタ福井株式会社
	株式会社 ナイガイ
	株式会社 ナレッジウエア
	株式会社 にしばた
	株式会社 日刊県民福井
	SMBC 日興証券株式会社 福井支店
	新田胃腸科放射線科病院
	財団法人 野村塗装店
	株式会社 野村塗装店
	株式会社 端野メディカル
	春江電子株式会社
	光タクシー有限公司
	平田鉄工株式会社
	福井医療株式会社
	福井県生活協同組合連合会
	福井県環境保全協業組合
	株式会社 福井観光トラベルサービス
	株式会社 福井銀行
	株式会社 福井建材社
	福井県済生会病院
	社団法人 福井県ビルメンテナンス協会
	財団法人 福井市ふれあい公社
	福井新世紀ケアサービス
	福井信用金庫
	福井総合病院
	福井テレビジョン放送株式会社
	フクイボウ株式会社
	福井放送株式会社
	福井ヤクルト販売株式会社
	福泉信用組合
	株式会社 福邦銀行
	藤田製本印刷株式会社
	富士フソー株式会社
	株式会社 ホクシン
	前田建設工業株式会社 福井営業所
	財団法人 松原病院
	三浦 重隆
	ミカミ看板
	水野公文堂
	みずほ証券株式会社 福井支店
	三谷設備株式会社
	三谷不動産株式会社
	株式会社 ミツノリ
	ムラセ看工店
	株式会社 名響社
	メイプルケア有限公司
	屋敷事務用品
	有限会社 康守商会
	株式会社 山崎塗装店
	株式会社 ヤマシタコーポレーション福井営業所

市町名	名称
	株式会社 ユアーズホテルフクイ
	陸整自動車株式会社
	隆機工業株式会社
	株式会社 リンクコーポレーション
	和田保育園
敦賀市	医療法人 保仁会 泉ヶ丘病院
	医療法人 積善会 猪原病院
	株式会社 かくだ 敦賀ケアセンターかくだ
	医療法人 敦賀温泉病院
	株式会社 ミヤゲン
小浜市	小浜製綱株式会社
	株式会社 木内計測若狭支社
大野市	株式会社 アドプロ
	デイホームひだまりでい
勝山市	サンビューかつやま
鯖江市	株式会社 ウォンツ
	医療法人 日野会 谷川病院
	福井トータルケア株式会社
	合資会社 藤田印刷所
あわら市	株式会社 グランドディア芳泉
	坂井地区医師会
越前市	株式会社 オーシン M.L.P
	医療法人 笠原病院
	株式会社 国府印刷
	シルバーハイツ武生
	大和建設株式会社
	医療法人 白百合会 武生記念病院
	株式会社 テクニカフクイ
	医療法人 林病院
	株式会社 ふじや食品
坂井市	社会福祉法人 坂井来春会
	株式会社 サカイ・ミート
	医療法人 三真会 真田クリニック
	サンキ株式会社
	株式会社 三和商会
	医療法人 社団西会
	第一織物株式会社
	東尋坊ひまわりの丘
	福井システムズ株式会社
	前田工織株式会社
	医療法人 慈風会 宮崎病院
越前町	丹生ケアセンターひまわり荘
高浜町	高浜社会保険介護老人保健施設 サンビュー高浜
若狭町	アイちゃん堂
	株式会社 前田産業
	介護老人保健施設 ゆなみ
県外	白石薬品株式会社
	中央法規出版株式会社
	日本総合経営協会

寄贈・寄附

誠にありがとうございました。

4月19日(金) 福井テレビジョン放送株式会社 様



福井テレビジョン放送株式会社 様

ドリームサーカス株式会社 様
ハッピードリームサーカス福井公演鑑賞券 2,500枚

寄贈先 社会福祉施設(入所)利用者 様

山内 和子 様 20万円



山内 和子 様

寄贈先 福井県社会福祉基金

4月23日(火) 株式会社 ムラタ 様



株式会社 ムラタ 様

車いす 5台

寄贈先

花園デイサービスセンター 様
デイサービスセンターもんじゅ 様
悠和園デイサービスセンター 様
ことぶき荘デイサービスセンター様
デイサービスセンターオアシス 様

福祉サービスの質の向上のためのたゆまぬ取り組み

～「(特養) ほのぼの苑」、「(特養) 愛寿苑」における第三者評価結果概要～

今回、サービスの質の向上の一環として福祉サービス第三者評価に取り組みました特別養護老人ホームである「ほのぼの苑(南越前町)」、「愛寿苑(福井市)」。それぞれの主な評価結果および施設のコメントをご紹介します。なお、詳細は、本会ホームページに掲載していますので是非、ご覧ください。

ほのぼの苑

○福祉サービスの基本方針と組織について

理念をはじめ理念に基づく5項目からなる職員の行動規範としての基本方針を明文化し、事業計画、広報誌、入苑のしおり等への掲載のほか苑内各所に掲示している。また、施設長は実施する福祉サービスの質の現状について定期的、継続的に評価・分析等を行うとともに、苦情処理、事故防止、看取り等について、自ら委員会を立ち上げ、職員の自由で積極的な活動を促すなど指導力を発揮している。

○組織の運営管理について

施設長は月刊誌等にて社会福祉事業に関する

《評価結果に対する関係者のコメント》

評価を受けた目的は、理念である「みんなで笑顔のために」これまで職員一丸となって努力してきたことを客観的に評価するためであります。結果を踏まえて「当たり前のレベルを上げる」ために行動する風土づくりに努め、それが組織の伝統や文化となるように今まで以上に精進したいと思います。



全体的な動向を把握するとともに、町介護保険計画策定委員会や地域包括支援センター運営協議会等に参画し、地域の高齢者や介護サービス利用者の状況をはじめ地域の福祉ニーズ等の把握に努めている。

○適切な福祉サービスの実施について

利用者等からの苦情の相談から解決までの手順がマニュアル、フローチャートでわかりやすく示され、苦情の内容や結果を個人情報に配慮しつつ施設内への掲示と文書で公表し、透明性を確保している。また、退所後も利用者・家族からの相談等に継続的に応じることについて、ホームページや退苑時の配付文書に明記しており、家族に対し継続した支援が行なわれる仕組みがある。

○高齢者福祉施設固有のサービス内容について

利用者一人ひとりの排泄状況を記録し、適時声かけし、トイレ誘導するなどオムツ外しに積極的に取り組み、自立に向けた支援がなされている。また、排泄のほか入浴等様々な生活場面で利用者個々のプライバシーや羞恥心に対する配慮が適切になされている。

愛 寿 苑

○福祉サービスの基本方針と組織について

年度事業計画は、現場職員による「フロア会議」、介護支援専門員、生活相談員等専門職による「施設運営会議」で協議し、策定する仕組みが整い、計画の進捗管理や見直しが定期的に行われている。また、施設長は、様々なサービスの質の向上のための委員会や会議等を設置し、自らも参加しサービスの質の評価・分析を行っている。

《評価結果に対する関係者のコメント》

今回の受審は、自分達の立ち位置を確認する上で大変意義のあるものでした。常日頃行っている業務の目的や自分達にどういった視点が不足しているのか、取り組みを通じあらためて実感すると共に職員間で共有する事が出来たと感じます。これをスタートとして、施設としての質の向上を図り、ご利用者並びに地域の皆様に還元出来るよう努めて行きたいと思っております。



○組織の運営管理について

緊急時や災害時に備えたマニュアルが整備されている。また、施設独自のリスクマネージャーを2名配置し、ヒヤリハットや事故への速やかな対応と改善・防止策を講じており、それらについて、1か月後に検証し、再発防止に努めている。

○適切な福祉サービスの実施について

「ケアマネジメントのプロセス」という業務手順やそれぞれ職員の役割や留意事項を明示したものを作成しており、アセスメントから評価・見直しまでの一連の流れを施設全体で統一している。

○高齢者福祉施設固有のサービス内容について

利用者の身体状態に応じた移乗等のための福祉・介助用具の導入が進められており、移乗方法の写真付きマニュアルが常備されている。また、「ひもときシート」を活用し、利用者の問題行動に関する情報を生活歴も含めて共有するほか、誤薬防止のため利用者個々の顔写真付き服薬袋を使用するなどの工夫のほか、利用者の嚥下状態等に合わせて薬の態様が調整されている。

介護事業所が簡単に検索できます！

クリック 介護サービス情報公表システム

介護事業所検索 または URL:<http://www.kaigokensaku.jp/>

このシステムの特徴

- 近所にある介護サービス事業所の比較・検討ができます。
- いつでも誰でも24時間、365日、自由に情報を入力することができます。
- 家族をはじめ、介護支援専門員などと情報を共有して、サービス利用の相談がしやすくなります。



地図イメージ図

自宅の近くの
介護サービス事業所が
簡単に探せます！

運営状況比較 イメージ図

事業所の比較が
簡単にできます！



レクリエーションや行事の
企画で悩んでいるあなた

アクティブシニアを活用ください！

例えばこんな場面で…

- 施設や事業所のレクリエーションで踊りを披露してくれるグループを探している。
- 子ども会のクリスマスイベントで合唱をしてくれる人はいないか。
- お習字やお茶のサークルで指導してくれる人を探している。

など、公民館、学校、福祉施設、医療機関等における催しやレクリエーションの指導者、出演者としてご活用ください。

「アクティブシニア」ってなに？

永年に培った豊富な経験・知識・技能を地域で活かしたいという意欲のあるシニアやシニアグループのことです。

「アクティブシニア」はどうすればわかるの？

登録者の名簿は、福井県社会福祉協議会ホームページ (<http://www.f-shakyo.or.jp>) に掲載しています。また、冊子をご希望の方は「すこやか長寿課」までご連絡ください。

費用はかかるの？

指導、発表等に関する経費は、依頼者にてご負担ください。(例：会場使用料、材料費 等)
その他、アクティブシニア派遣に伴う旅費を助成する制度もあります。

どうやって依頼すればいいの？

まずは、「すこやか長寿課」にお電話ください！ ☎0776-24-2433



福井県福祉人材センターからのお知らせ

福井県福祉人材センターは、様々な事業、イベントで福祉職場への就労・定着支援、福祉のしごとのイメージアップを図ります。今年度の主な取組みは次のとおりです。

就職説明会・面談会

れいなん福祉就職フェア

第1回 平成25年6月22日(土)
13:30～15:30
会場：敦賀市福祉総合センター
※第2回目の日程は未定です。

ふくい福祉就職フェア

求人事業所の方と直接面談できる機会です。面接対策講座も実施します。

次回(第2回)

平成26年2月11日(火・祝)
13:00～16:00
会場：ユー・アイふくい(福井県生活学習館)
※第1回目は6月1日に終了しています。
(60事業所参加)



ふくしジョブ・ミニパーク

地域限定の就職フェアです。求人事業所個別面談コーナー、就職相談コーナーがあります。

福井地区 8月8日(木) 13:00～15:30
会場：福井県産業会館

丹南地区 8月28日(水) 13:00～15:30
会場：鯖江市保健福祉センター(アイアイ鯖江)

坂井・福井地区 9月5日(木) 13:00～15:30
会場：エルパホール(エルパ2階)

奥越地区 9月13日(金) 13:00～15:30
会場：大野市有終会館

月例面談会(マンスリーミーティング)

毎月開催! 毎月第4木曜日 14:00～16:00
会場：福井県社会福祉センター

就職・求人相談

福祉人材無料職業紹介所

経験者から未経験者まで福祉・介護の仕事を紹介します。資格取得についてもご相談に応じます。お気軽にお越しください。

福井県福祉人材センター相談室(県社会福祉センター内)
相談・受付時間 平日9:00～17:00
※毎月第2・4木曜日は夜間相談(17:00～20:00)を実施しています。

コーディネーター(専門員)の活動

求職者・就業者・事業所の悩みや就職後のキャリアアップ等の相談をお受けします。施設・事業所訪問による求人開拓や移動相談会を開催し、求職登録・求人紹介を行います。



福祉・介護現場はまだ人材が不足しています!

資格がなくても大丈夫です!



移動相談会

※福祉の求人・求職・資格相談
毎週火曜日 13:00～16:00
武生西公民館別館1階(ハローワーク武生横越前市中央2-8-16)
毎週金曜日 13:00～16:00
大野市職業訓練センター2階
大野市中挟1-1601-1

福祉のしごと説明・体験

福祉のしごと訪問説明会(学校・グループ対象)

ご希望の日時・場所に出向いて、福祉の仕事のやりがいや大切さについて説明します。また、ご要望により福祉施設の見学・体験にも応じます。公民館等の地域の行事や小・中学校の総合的な学習、クラブ活動等にぜひご利用ください。

ふくし入門教室(介護の日(11月11日)関連イベント)

福祉のしごとに関心がある方を対象に、高齢者施設、障害者施設の見学、仕事内容の説明を行います。※日程・内容については決まり次第、福井県社会福祉協議会のホームページに掲載いたします。

介護雇用プログラム

介護にチャレンジ!〈6か月コース〉

資格を取得し、長く介護の仕事に就きたいと希望する方を対象としたプログラムです。高齢者施設や障がい者施設で、介護職員として働き給与を得ながら、勤務時間内に介護職員初任者研修課程(旧:ホームヘルパー2級)を受講することができます。なお、利用条件等、詳細についてはお問合せください。



福井県福祉人材センター(社会福祉法人 福井県社会福祉協議会・福祉の人づくり支援課)

〒910-8516 福井市光陽2-3-22 県社会福祉センター内 TEL(0776)21-2294 FAX(0776)24-4187

ケアマネ試験準備講習会 受講者募集中! 6月22日から開催

詳しくはホームページにて
福井県社会福祉研修所

検索

スマイル

未来に笑顔



Profile

神田 暁美 さん (越前市)

(医) 相木病院 シルバーハイツ武生
介護福祉士 2年目

このコーナーでは、「笑顔 (スマイル)」をキーワードに福祉職の方々に登場いただき、福祉の現場で活躍しているからこそ『見える』『言える』、福祉の魅力について語っていただきます。

福祉職に就いたきっかけ

子育てのため病院 (事務職) を退職しましたが、子どもの手もかからなくなったのを機に就職活動を始めました。はじめは経験のある事務の仕事求めて職安に行きましたが、求人は介護職が殆んどでした。体力に自信がないうえに、口下手で人見知りをするタイプの自分「介護」という仕事は考えられませんでした。職にこだわらず、介護職がどのようなものか見学に行かないか」と言われたのが介護との出会いです。見学を終えてみると介護に対する考え方が変わり、むしろ興味を持ち始めていることに気づきました。ちょうど国の制度で介護人材新規就業支援事業 (介護雇用プログラム) もスタートしていたので、それを活用して介護福祉士の資格を取得することができました。

貴重な経験

養成校時代のことです。施設実習で利用者さんの取りまく環境を会話の中から聞き出す課題が出されたのですが、課題に打ち込むあまり尋問するような形になってしまい、その利用者さんから「根掘り葉掘り聞か

れ、とても不愉快だった。あの人は二度と来ないでほしい」と施設を通じて学校に抗議がありました。

もちろん興味本位で聞いたわけではないので、かなりショックを受けましたが、利用者さんの前で聞き洩らさないよう一生懸命にノートをとっていた自分の姿を思い返してみると、自分本位で相手への配慮を怠っていたことに気づきました。

でも、この経験は私にとって尊いもので、今もこの体験が私自身の教訓となっています。



大切にしていること

思いもよらない介護の世界に飛び込みましたが、今では「天職」なのかもしれないと思っています。私は口下手で人と関わることは苦手でしたが、この世界に飛び込んだことよって人と関わる大切さを学びました。何よりも利用者さんから多くのことを学ばせてもらっています。これからも、利用者さんとの信頼

関係を大切に、「寄り添う介護」ができるような専門職をめざしてがんばりたいと思っています。



笑顔の素

利用者さんの笑顔

利用者さんの笑顔が私の笑顔と元気の素になっています。

取材を終えて

「すぐに涙が出てしまいました」とエピソードを話す間にも当時のことを思い出して涙する神田さんですが、これまでの貴重な経験を糧に熱い思いを語っていただきました。